

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市榴岡児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 37,878人 (前年度比 127.6%)          平成28年度 29,685人          平成27年度 28,193人          平成26年度 27,584人</p> <p>《事業》          児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 43,446千円 ( 33,649千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケート、地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。特に、緊急時の連絡等については、児童クラブの保護者に「緊急時対応カード」の携行を依頼するなど、発災時の体制が整えられている。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。特に、似顔絵による職員紹介やパネル化した目指す児童館像、行事写真の掲示は分かりやすい情報となっている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、坪沼エリアでのワークショップを実施し、自然の中で友達と関わり遊びを通じ創造性を育む取組みを展開している。また地域の諸団体をはじめ、学校などと連携し様々な事業を展開しており関係機関との体制が構築されている。子育て支援の拠点として地域に根差した児童館運営に取り組んでいる。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場 ）による自己評価》	
<p>・来館者ひとり一人に寄り添った対応を「チーム児童館」として職員全員が真摯に対応してきたことを、アンケート結果だけでなく、乳幼児保護者、児童クラブ登録保護者そして地域の方々から直接伺うことが多かった。</p> <p>・初めて利用する乳幼児連れが顕著で、榴岡地区の子育て世帯の増加が見て取れる。乳幼児連れの放課後利用も多くなったが、学齢期の子どもたちが乳幼児の世話をしたり、ゆうぎ室での遊びを譲ったりと乳幼児を尊重する姿が日常的となった。異年齢の子どもたちが集う光景は「子どものほっとステーション」を目指してきた一つの成果といえる。</p> <p>・「子どもの参画」意識が高い。児童館まつりと子どもまつりを柱に、30名程の小学生が毎週スタッフ会を開き当日を迎えるが、仲間と一緒に作り上げていく喜びや達成感を得て、自己肯定感を高めている。</p> <p>・開館当初より榴岡小学校との協働意識は高い。学校側の全面的な協力でタイムシェア型分室を「つつじホール」で行うことが出来た。</p> <p>・榴岡小学校の増改築にあたっては、地域諸団体も児童クラブの充実をコンセプトとして入れるなど、地域が学校と児童館を一体として考える意識を高く持ってくれている。</p> <p>・榴岡小学校支援地域本部および父母教師会、児童館の3者共催による「地域公開セミナー」を3回シリーズで行った。乳幼児から学童期の子を持つ親たちが一緒に受講する機会を今後も続けたい。</p> <p>・大規模化する児童クラブ児童を対象に坪沼地区で「そあとの庭」ワークショップを4回実施。普段出来ない体験を仲間と共に経験し繋がりを深めた。保護者からも好評で継続の希望が多い。</p> <p>・榴岡とその周辺の子育てに関し「縁が輪ネット」を組織しているが、放課後児童デイも加わり、子どもをインクルーシブに考える輪が広がった。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>転出入や乳幼児親子の利用が多い地域の状況を踏まえ、初めてでも利用しやすい雰囲気づくりや発達段階に応じたプログラムや親子交流の場を提供し、子育て家庭が利用しやすい環境を整えている。子育て支援クラブや民生委員児童委員等地域組織・団体、住民等と連携しながら乳幼児から大人まで参加できる地域世代間交流の実施など、顔が見える関係づくりの場を提供しているほか、地域全体で子育てを支える環境作りに取り組んでいる。坪沼エリアでのワークショップの実施など、自然体験を通じ児童の社会性や創造性などを育む取り組みを行っている。また、児童による企画・運営行事として「児童館まつり」、「子どもまつり」等を実施し、児童の自主性を尊重し、児童が積極的に参画できる場を設けるなど健全育成に取り組んでおり評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室